



地域医療連携ニュース

発行：兵庫県立加古川医療センター 〒675-8555 加古川市神野町神野 203 番地 <http://www.kenkako.jp/>
TEL：079-497-7000(代表) TEL：079-497-7011(地域医療連携部直通) FAX：079-438-3756(地域医療連携部直通)

●	がん相談支援センター・がん患者サロン	1	●	整形外科	5
●	泌尿器科	2	●	脳神経内科	6
●	外科・消化器外科	3	●	乳腺外科	7
●	循環器内科	4	●	外来診療表	8

がん相談支援センター

がん専門相談員が、がんに関する質問やお困りごとに対して、解決できるようにお手伝いをいたします。

対象者 がんに関してご相談を希望される患者さん、ご家族。
(当院受診歴がなくてもご相談出来ます)

信頼できる情報に基づいて、がんという病気や治療、療養生活について、情報探しのお手伝いやご相談にお応えしています。必要に応じて医療チームと連携します。

ご利用方法

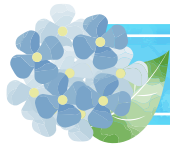
- 受付日時 平日午前9時から午後4時
- 受付方法 電話または対面
- 相談時間 原則1時間
- 相談料金 無料
- 受付場所 外来DEブロック受付
- 電話番号 079-497-7000 (病院代表)



がん患者サロン

がん患者サロンは、がん患者さんやそのご家族同士の交流の場です。参加された方からは「病気について話す場があったよかった」「抗がん剤の副作用で辛い思いをしているのは自分だけと思っていたが、参加者の体験を聞き頑張ろうと思えた」といった感想をいただいています。

- 開催日時 毎月 第2水曜日 10:00~12:00 事前申し込み不要
- 場所 当院本館1階 がん患者サロン (生活習慣病センター横)
- 費用 参加無料
- 対象 がんの患者さん、ご家族 (当院受診歴がなくても参加出来ます)
- 内容 交流会&ミニ講座 (30分程度) *いずれかのための参加も可能です
- 問い合わせ先 がん相談支援センター 079-497-7000 (代表)



泌尿器科

医療安全部長兼泌尿器科部長 **大場 健史**

当科は、ロボット手術に代表される先進的医療はもちろん、進行癌に対する集学的治療、治療に難渋する症例に対する治療など、東播磨圏域の泌尿器科の中核病院として、高度専門医療を提供しております。

*国産ロボットhinotori™による新たな手術を開始しました

地域医療連携ニュース2023年6・7月号で、当院における手術支援ロボットhinotori™の稼働状況をご報告いたしました。その後、従来からロボット手術で施行していた前立腺全摘除術、腎部分切除術、膀胱全摘除術に加え、更にhinotori™で取り扱う手術が増えました。

腎臓癌に対する腎全摘除術、腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘除術、腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術の3術式を新たに導入致しました。



*腎癌に対する腎摘除術

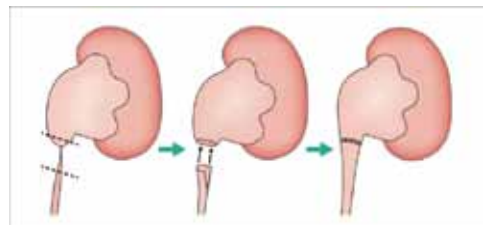
腎癌に対しまして、これまで腎全摘除術は従来からの腹腔鏡手術、腎部分切除術はロボット支援手術で対応していました。この度、腎癌に対するロボット支援腎全摘除術にも保険が適用されるようになりました。腎全摘を要する腎癌は通常局所進行癌もしくは遠隔転移を有する癌となります。腹腔鏡での手術と比べ、腎周囲の剥離操作やリンパ節廓清術が、より確実かつ安全に施行できるようになりました。

*腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘除術

腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘除術に対しましてロボット支援手術が新たに保険適用となりましたため、従来からの腹腔鏡手術から、ロボット支援手術に切り替えて施行しています。従来の腹腔鏡での手術と比べ、リンパ節廓清の精度は高く、更に下部尿管と膀胱の移行部の処置も良好な術野で精細な手術が可能となりました。

*腎盂尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成手術

腎盂尿管移行部狭窄症は、尿管自体の狭窄に加え、尿管周囲の結合組織の異常や周囲血管の走行異常により水腎症を来した状態となります。この手術も従来は腹腔鏡で治療していましたが、狭窄部の切除や縫合形成にロボットを用いることで、吻合部からの尿溢流や吻合部狭窄がより少ない確実な手術ができるようになりました。



- ・腎盂形成術の手術方法：狭窄部を切除し、腎盂と尿管を新たに吻合します

■スタッフ紹介

田中 宏和 (昭和61年卒) 院長
日本泌尿器科学会認定専門医・指導医
日本泌尿器内視鏡学会代議員
泌尿器腹腔鏡技術認定医
ロボット前立腺手術、膀胱全摘手術、
腎癌腎部分切除術プロクター認定

大場 健史 (平成7年卒)
医療安全部長兼泌尿器科部長
日本泌尿器科学会認定専門医・指導医
泌尿器腹腔鏡技術認定医
ロボット前立腺手術、膀胱全摘手術、
腎癌腎部分切除術プロクター認定

安野 恭平 (平成27年卒)
泌尿器科医長
日本泌尿器科学会認定専門医

島田 よしき (平成31年卒)
泌尿器科医員

伊賀 脩介 (令和3年卒)
泌尿器科専攻医

末廣 伊歩樹 (令和4年卒)
泌尿器科専攻医





外科・消化器外科

外科・消化器外科部長 **高瀬 至郎**

当科では、食道から肛門までの消化管、肝・胆・膵・脾など実質臓器も含めた消化器外科を中心に診療しています。消化器癌に関しては手術前後の補助化学療法を始め、進行再発癌の薬物療法にも取り組んでいます。良性疾患では、胆石症、虫垂炎などが対象になりますが、急性期、慢性期とも経過を重視した外科治療を行なっています。消化器外科領域以外では鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアなども積極的に治療対象としています。また外傷外科分野も、救急部との連携を図りながら、積極的に取り組んでいます。

悪性疾患の治療方針につきましては、まず、生命予後を最も重視し、各疾患の治療ガイドラインに則った治療を基本としています。集学的治療の観点を踏まえ、最善の結果を追求する、その上で、低侵襲な手術法や機能温存を考えた手術法など、新しい治療法も、積極的に取り入れています。

手術法として、腹腔鏡や胸腔鏡を用いた鏡視下手術を積極的に採用しており、進行胃癌や大腸癌の困難症例を除けば、消化管と胆嚢手術やヘルニア手術はほぼ全例、鏡視下手術を施行しています。現在では、肝臓や膵臓など実



質臓器に対しても症例を選んで鏡視下手術を取り入れています。また、消化器内科とも協力し、腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）も導入しています。また審査腹腔鏡も積極的に施行し、術前の薬物治療の反応性を確認しながら、根治性を追求する手術（コンバージョン手術など）にも力を入れています。

スタッフは6人で、5人の消化器外科医に、救急科専門医を加えた構成となっています。メンバーは、消化器外科医として十分な経験と各々に専門領域、得意分野を有しており、チームワークも大変良好です。また消化器内科をはじめ、他科との連携も良好であり、トータルに患者さんに良好なサービスを提供できるように心がけております。

地域の中核病院として皆様のご期待に添えるよう頑張ります。

■ スタッフ紹介

高瀬 至郎 (検査部長・放射線部長兼外科・消化器外科部長 平成元年卒)

日本外科学会専門医	日本消化器外科学会認定医
日本がん治療認定医	消化器がん外科治療認定医
近畿外科学会評議員	臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了	医学博士
臨床研修協議会プログラム責任者養成講習会修了	

小林 巖 (外科・消化器外科部長 平成10年卒)

日本外科学会専門医	医学博士
-----------	------

中川 暁雄 (外科・消化器外科部長 平成13年卒)

日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医・指導医
消化器がん外科治療認定医	日本がん治療認定医機構がん治療認定医
緩和ケア研修会修了	臨床研修指導医
医学博士	

門馬 浩行 (外科・消化器外科部長 平成15年卒)

日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医・指導医
日本がん治療認定医	消化器がん外科治療認定医
日本膵臓学会認定指導医	検診マンモグラフィ読影医
緩和ケア研修会修了	臨床研修指導医
医学博士	NST医師

川嶋 太郎 (救急科医長兼外科・消化器外科医長 平成20年卒)

日本外科学会専門医	日本消化器外科学会専門医
日本救急医学会専門医	日本腹部救急医学会認定医
消化器がん外科治療認定医	臨床研修指導医
緩和ケア研修会修了	NST医師

谷川 航平 (外科・消化器外科医長 平成25年卒)

日本外科学会専門医	緩和ケア研修会修了
医学博士	

〈非常勤医師〉

堀 宏成 (外科医長 平成10年卒)

日本外科学会専門医・指導医	日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医	消化器がん外科治療認定医
日本消化管学会胃腸科専門医・指導医	緩和ケア研修会修了

■ 2023年手術症例数

	全体	鏡視下
食道	4	3
胃・十二指腸	32	3
小腸	20	17
大腸(直腸)	16	15
大腸(結腸)	70	53
虫垂	16	14
肝臓	6	6
胆道(良性)	92	87
胆道(悪性)	5	0
膵・脾・十二指腸乳頭	5	0
腹部その他	27	6
肛門	2	0
ヘルニア	130	100
ポート手術室	8	0
合計	437	307

地域医療機関の先生方へ

日頃より多くの患者さんをご紹介いただき、ありがとうございます。

月曜から金曜まで外来を開いておりますので、なんなりとご相談下さい。今後とも円滑な運営を心掛けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

みんなで考える「心不全緩和ケア」

循環器内科部長 岩田幸代

いよいよ高齢化社会に突入です。今年5月のある日の循環器内科の入院患者さんの平均年齢は92歳でした。当院でも心不全患者さんに対して、少しずつ非癌患者さんの緩和医療を開始しています。

「人生の最終段階を迎える」には幅広い方がおられます。「何処まで行けば最終段階なのか?」「本人の希望がわからない」など色々な問題がありますが、非癌患者さんの中では心不全患者さんには比較的明確な指標があります。治療を頑張っている、年2回以上の頻度で予想外の心不全増悪入院を繰り返すようなら、「人生の最終段階を迎える」のが年単位であろうというデータがあるからです。

頻回の心不全入院を繰り返す患者さんに院内スタッフと患者さん、ご家族で悩みながら「人生の最終段階を迎える」準備ができるように終活のお手伝いを始めました。昨年度は13名の方をお見送りいたしました。1例1例大切に振り返りを行い、次の症例に活かせるように歩みを進めています。

今年も循環器疾患の「予防医療」の入口から「人生の最終段階」の出口までトータルに少ないマンパワーではありますが、できるだけ地域の皆さんのお役にたてるように頑張っています。引き続き、①睡眠時無呼吸②これは循環器疾患?③念のため詳しい検査を!④血圧(肺高血圧含む)・心不全・脂質コントロールなど、循環器の患者さんの紹介をお待ちしております。

6西循環器リハビリカンファレンス



我らが6西病棟看護スタッフ



地域連携スタッフとの打ち合わせ



福田医師



岩田医師



笠松医師





整形外科



副院長兼整形外科部長 **高山 博行**

当科は旧県立加古川病院時代から、長年にわたり東播磨地域における整形外科診療の中核として、皆様の信任を頂いてまいりました。2009年の新設移転後は救命救急センターが併設されて重度外傷、3次救急にも対応可能となり、最新医療設備も整備されて手術件数も県内屈指のレベルに増えました。

外 傷

高齢者の大腿骨近位部骨折や2次救急外傷だけでなく、高エネルギー外傷に伴う多発骨折などの重度外傷の治療も行っております。重度外傷では全身状態が不良な場合も多く、救急科を始め多くの科と連携して集学的な治療を行っています。

関節外科

変形性関節症や関節リウマチに対する人工関節手術や、膝半月板損傷に対する関節鏡下手術を多数行っています。人工関節手術は、変形に応じた手術アプローチやインプラント選択、ポータブルナビゲーションシステムを使用した手術も行っています。

リウマチ膠原病センター

2016年度に「リウマチ膠原病センター」が開設され、関節リウマチによる関節の変形、痛み、機能障害に対する手術も多数行っております。リウマチ関連のどのような問題にも対処いたしますのでご相談ください。

脊椎外科センター

2018年度に「脊椎外科センター」が開設されました。脊椎疾患の手術で最も多い腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアの手術は顕微鏡や内視鏡を導入し、できるだけ低侵襲で行っています。腰椎すべり症や脊柱変形、脊椎損傷などは、不安定な脊椎や、骨折部を固定するための脊椎固定術が必要ですが、最新の術中透視装置、最新のナビゲーションを導入し、低侵襲、低被爆、正確性の高い手術を施行しています。また術中脊髄機能モニタリングもできるだけ併用し、安全度の高い手術が可能となっています。

骨粗鬆症センター

高齢化により骨粗鬆症患者が急増しており、骨粗鬆症の治療にも力を入れています。骨粗鬆症治療は生涯にわたる継続が必須であり、2016年度に「東播磨骨粗鬆症地域連携ネットワーク」を立ち上げ、近隣医療機関と連携しての地域全体での治療を目指しています。2019年度には「骨粗鬆症センター」も開設し生活指導も含めた包括的な治療（リエゾンサービス）の拡充を目指しております。

昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に格下げとなり、整形外科の診療もほぼ完全にコロナ前の通常診療に戻りました。今後も、地域医療のニーズに応えてまいりたいと思いますので、よろしく願い申し上げます。





脳神経内科

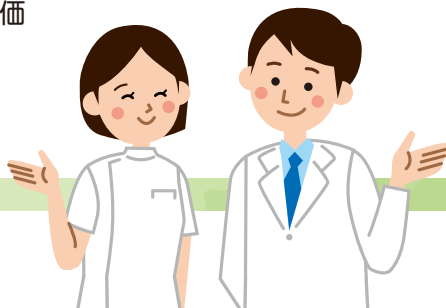


脳神経内科部長 **奥田志保**

2024年度からスタッフが更に2名増え、常勤医4名体制となり、病床数も15床になりました。断らない脳神経内科をスローガンに一同頑張る所存ですので、神経疾患が疑われる患者さんがおられましたら、ぜひご紹介のほどよろしくお願い致します。

今年度のアピール点は次の4点です。

1. 脳卒中を含む神経疾患の入院を積極的に引き受けます。
2. 昨年度に引き続き、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病に対する集中的な入院リハビリを充実させます。
3. 脳神経内科専門医による脳ドックを始めました。
(詳細は以下をご参照ください)
4. 嚥下造影検査や嚥下内視鏡検査を立ち上げ、嚥下機能の評価を充実させます。



「加古川医療センター 脳神経内科専門医による脳ドック」のご案内

当院では脳神経内科専門医による脳ドックを以下のとおり令和6年4月より開始します。

脳の健康が気になる方は、ぜひお申し込みください。

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 検診実施日 | 毎週金曜日 |
| 2 検診実施数 | 各日1名 |
| 3 検診内容 | 診察・問診、長谷川式認知症検査、
頸動脈エコー検査、脳MRI検査、MRA検査 |
| 4 検診料金 | 30,800円(税込み)
※健康保険は使用できません。 |
| 5 予約・
お問い合わせ | 完全予約制です。
平日 13時30分～15時30分
電話 079-497-7011 予約センター
※「脳ドックの予約」とお伝えください。 |



乳腺外科

乳腺外科部長 石川 泰

日本人女性の乳がん発症率は11人に一人と急速に増えていますが、薬物療法の進歩に伴う近年の乳がん生存率の向上は日進月歩といえるものがあります、この生存率の向上を遅滞なく患者さんに届けられるよう努めています。また薬物療法による後遺症対策にも十分に配慮し、患者さんが治療後の人生をおう歌できるように努めています。

乳がんの診療は短期間の手術入院を除いては通常外来で行うことが多くなっています、また地域医療連携パスを活用し当院の治療が終了すれば逆紹介する症例が増えたため、外来診療も混みあうことなくスムーズな運用になっております。

診療実績	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
乳腺良性疾患手術数	19	21	26	50	26
乳腺悪性疾患手術数	138	169	165	180	167
その他手術（乳房再建等）	6	3	1	15	15
外来化学療法件数	857	935	922	1253	1258
乳がん地域連携パス利用症例数	18	59	69	63	86

当科の特色

当科は10年以上乳腺疾患を専門とした診療を続けてきた日本乳癌学会の認定施設です。診療面では診断・治療・術後フォロー、再発症例の治療・緩和ケアまで一貫して行う体制をとっています。中規模総合病院の利点を生かし様々な診療科の協力を得て患者さんを支え、緩和病棟が併設されており最期まで診療にあたる気概を持って患者さんに接しています。

医師のほかにも乳腺診療に必要な経験と資格を取得したスタッフが充実しています（がん化学療法認定看護師、リンパ浮腫療法士、緩和ケア認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師）。

診療内容

- 乳がんの診断・治療（手術・薬物療法・乳房再建）・術後フォロー
- 乳がんの検診（加古川市個別検診実施機関、乳癌検診で要精査とされた方の検査）
- 乳がん再発後の治療・緩和ケア
- セカンドオピニオン外来・遺伝カウンセリング
- 乳腺の良性疾患（良性腫瘍・乳腺炎・乳輪下膿瘍など）の治療

乳がんの治療においては、日本乳癌学会の診療ガイドラインに基づいた標準治療を基盤として、個々の患者さんの課題に寄り添う『がんチーム医療』に重点をおいています。



スタッフ紹介

- 石川 泰（イシカワ トオル） 化学療法担当部長兼乳腺外科部長 外科学会専門医・指導医、乳癌学会専門医・指導医、がん治療認定医、超音波医学会専門医、検診マンモグラフィ読影A評価
- 小林貴代（コバヤシ タカヨ） 乳腺外科部長 外科学会専門医、乳癌学会専門医、検診マンモグラフィ読影A評価
- 庄司 夢（ショウジ ユメ） 乳腺外科専攻医





県立加古川医療センター外来診療表

令和6年7月1日(月)～

		月	火	水	木	金
総合内科	初診	石田	大北	藤田	山室	中村
消化器内科	1診	埴本(さかもと)	安富	田村	【尹(ゆん)】(再診のみ)	埴本(さかもと)
	2診	廣畑	森口	廣畑	廣畑	安富(午前)
	3診				白川	
循環器内科	1診	福田	担当医(～14時)	岩田	担当医(～14時)	岩田
	2診	【禁煙】			【ペースメーカー】	笠松
脳神経内科	1診	下村	奥田	一角	高原	奥田
	2診		古結(午前)	下村(午後)		一角
糖尿病・内分泌内科	1診	石井	藤田	田守	石田	檜谷
	2診		後藤	稲山(午前) 檜谷(午後)		稲山(午前) 前田(午後)
緩和ケア内科	入棟面談	担当医		担当医		担当医
	サポーターケア外来 (緩和ケア外来)	田中		田中		
生活習慣病		【合田】 糖尿病・肥満	【戒谷(えびすたに)】(午前) 【坂田】(午後) 糖尿病・肥満	【合田】 糖尿病・肥満	【西山】 糖尿病・肥満	担当医(午前)
		【福田】 禁煙(午後)	装具外来			
リウマチ科	1診	中川	塩澤	塩澤	原井川	中川
	2診	田中	上藤	青崎	田中	天野
	3診	西田	吉原	吉原	吉原	担当医
	4診	村田	西田	村田	村田	担当医
	5診	天野		天野		
腎臓内科	1診	午後	加藤		加藤(1,3,5週) 北浦(2,4週)	山本(午前)
外科・消化器外科	1診	高瀬	川嶋	小林	担当医	高瀬
	2診	中川	谷川	門馬(もんま)		中山
心臓血管外科			担当医			担当医(午後)
脳神経外科	1診	担当医	荒井	森下	担当医	荒井
	2診		松木	荒井		松木
乳腺外科	1診	石川	石川		石川	担当医
	2診	小林	担当医		小林	
整形外科	初診 1診	原田(午前) 青木(午後)	上藤	高山	青木	中川
	初診 2診	高原		北山	神村	
	骨粗鬆症	午後	【上藤】		【北山】	
形成外科	1診	櫻井	交代制	櫻井	櫻井	櫻井
	2診	松葉		松葉	松葉	松葉
	3診	【金山】		【金山】	【金山】	【金山】
皮膚科	初診/予診	小猿	永松	廣田	山田	小猿
	1診	山田(午前)	川田	川田	担当医	川田
	2診	永松(午前)	廣田	永松	廣田	山田
眼科	1診	薄木(午後)	薄木			薄木
	2診	徳川	徳川	徳川		徳川(第3)
	3診	秋田(第2・4)				
泌尿器科	1診	担当医	金	田中	担当医	田中
	2診		大場			大場
放射線科	(IVR)	担当医		担当医		担当医
	(治療)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

予約受付時間 平日 9:00～18:30 土曜日 9:00～11:30(祝日除く)

※各科診療予定は変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※【 】は予約できませんが、特別に受診を希望される場合等は、ご連絡下さい。

お願い 患者さんの待ち時間短縮のため、FAX またはインターネットで初診予約をお取り下さい。
インターネットで初診予約を行う場合は、登録医の登録をお願いします。